



## 2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社あいちフィナンシャルグループ  
コード番号 7389 URL <https://www.aichi-fg.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 行記

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 柳 博之

TEL 052-262-6512

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	66,378	25.6	10,861	4.9	7,706	91.3
2023年3月期第3四半期	52,861		11,421		88,268	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 31,637百万円 ( 49.0%) 2023年3月期第3四半期 62,085百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第3四半期	157.38	156.27
2023年3月期第3四半期	2,196.21	2,177.89

(注1) 2023年3月期第3四半期の「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「包括利益」には、「負ののれん発生益」80,491百万円を含んでおります。

(注2) 当社は2022年10月3日設立のため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,790,055	348,346	5.1
2023年3月期	6,786,007	323,476	4.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 347,867百万円 2023年3月期 318,392百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期				50.00	50.00
2024年3月期		50.00			
2024年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2022年10月3日設立のため、2023年3月期期末配当が初めての実績となります。

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	8,000	52.8	5,600	93.2	114.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 有 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	49,124,671 株	2023年3月期	49,124,671 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	138,232 株	2023年3月期	197,752 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	48,964,885 株	2023年3月期3Q	40,191,111 株

(注)2023年3月期第3四半期における普通株式の期中平均株式数は、当社が2022年10月3日に共同株式移転により設立された会社であるため、会社設立前の2022年4月1日から2022年10月2日までの期間については、株式会社愛知銀行の期中平均株式数に株式移転比率を乗じた数値を用いて算出し、2022年10月3日から2022年12月31日までの期間については、当社の期中平均株式数を用いて算出しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(企業結合等関係) .....	6
3. 2024年3月期第3四半期 決算短信説明資料	
(1) 損益の状況 .....	8
(2) リスク管理債権の状況 .....	12
(3) 自己資本比率（国内基準） .....	14
(4) 有価証券の評価損益 .....	15
(5) 預金等・貸出金の残高 .....	17
(参考) 預かり資産 .....	18

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢が改善する下で、個人消費が持ち直しており、景気は緩やかに回復しています。但し、消費者物価は緩やかに上昇しており、加えて世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響などによる海外景気の下振れが、景気を下押しするリスクとなっています。

愛知県を中心とした当地域につきましては、住宅投資が弱い動きとなっているものの、主要産業である自動車関連を中心に輸出と生産は増加基調にあり、企業の景況感は改善が続いています。また、設備投資の増加や雇用・所得の緩やかな改善から、景気は緩やかに回復しています。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

経常収益は、前年同四半期比135億17百万円増収し、663億78百万円となりました。

一方、経常費用は、前年同四半期比140億77百万円増加し、555億17百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同四半期比5億59百万円減益の108億61百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比805億62百万円減益の77億6百万円となりました。これは、前第3四半期連結累計期間において、企業結合による負ののれん発生益804億91百万円を含んでいるためであります。

なお、当社設立において、企業結合会計上の取得企業を株式会社愛知銀行としたため、前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）の連結経営成績は、株式会社愛知銀行の前第3四半期連結累計期間の連結経営成績を基礎に、株式会社中京銀行の前第3四半期連結会計期間（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）の連結経営成績を連結したものととなります。

また、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおり、当第3四半期連結累計期間より、割賦販売取引の売上高及び売上原価の計上基準を変更しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については当該会計方針を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきまして、総資産は、前連結会計年度末比40億円増加し、6兆7,900億円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末比248億円増加し、3,483億円となりました。

主要勘定のうち、貸出金につきましては、住宅ローン等の増加を主因に、前連結会計年度末比1,298億円増加し、4兆6,982億円となりました。預金につきましては、個人預金や法人預金を主体に、前連結会計年度末比2,321億円増加し、5兆8,553億円となりました。また、有価証券につきましては、前連結会計年度末比293億円増加し、1兆3,876億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	712,782	536,184
コールローン及び買入手形	1,068	1,205
買入金銭債権	8,788	8,334
有価証券	1,358,391	1,387,693
投資損失引当金	△0	△0
貸出金	4,568,454	4,698,299
外国為替	8,811	7,889
その他資産	67,895	92,219
有形固定資産	65,782	65,647
無形固定資産	2,289	2,420
退職給付に係る資産	11,170	11,856
繰延税金資産	497	478
支払承諾見返	7,650	6,925
貸倒引当金	△27,576	△29,100
資産の部合計	6,786,007	6,790,055
<b>負債の部</b>		
預金	5,623,221	5,855,329
譲渡性預金	7,410	18,600
コールマネー及び売渡手形	248,682	30,000
債券貸借取引受入担保金	214,050	200,713
借入金	279,937	264,735
外国為替	1,641	1,091
社債	5,000	—
その他負債	53,726	34,023
賞与引当金	1,211	278
役員賞与引当金	38	—
退職給付に係る負債	588	492
役員退職慰労引当金	63	78
睡眠預金払戻損失引当金	218	168
偶発損失引当金	2,268	2,370
繰延税金負債	12,320	22,408
再評価に係る繰延税金負債	4,500	4,493
支払承諾	7,650	6,925
負債の部合計	6,462,531	6,441,708
<b>純資産の部</b>		
資本金	20,026	20,026
資本剰余金	34,374	37,031
利益剰余金	226,645	229,471
自己株式	△516	△360
株主資本合計	280,530	286,169
その他有価証券評価差額金	28,830	52,439
繰延ヘッジ損益	380	640
土地再評価差額金	8,324	8,308
退職給付に係る調整累計額	326	308
その他の包括利益累計額合計	37,862	61,697
新株予約権	537	479
非支配株主持分	4,546	—
純資産の部合計	323,476	348,346
負債及び純資産の部合計	6,786,007	6,790,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
経常収益	52,861	66,378
資金運用収益	31,928	43,020
(うち貸出金利息)	19,886	27,083
(うち有価証券利息配当金)	11,566	15,431
役務取引等収益	9,155	12,756
その他業務収益	5,587	4,998
その他経常収益	6,189	5,603
経常費用	41,440	55,517
資金調達費用	1,094	2,585
(うち預金利息)	379	959
役務取引等費用	2,964	4,077
その他業務費用	11,072	11,599
営業経費	23,781	32,257
その他経常費用	2,526	4,997
経常利益	11,421	10,861
特別利益	80,520	0
固定資産処分益	28	0
負ののれん発生益	80,491	—
特別損失	288	61
固定資産処分損	103	44
減損損失	185	16
税金等調整前四半期純利益	91,652	10,800
法人税、住民税及び事業税	2,083	2,558
法人税等調整額	1,209	460
法人税等合計	3,293	3,019
四半期純利益	88,359	7,781
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	75
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,268	7,706

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	88,359	7,781
その他の包括利益	△26,273	23,856
その他有価証券評価差額金	△28,523	23,614
繰延ヘッジ損益	1,845	260
退職給付に係る調整額	404	△18
四半期包括利益	62,085	31,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,991	31,556
非支配株主に係る四半期包括利益	94	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(割賦販売取引の売上高及び売上原価の計上基準の変更)

当社の連結子会社である愛銀リース株式会社は、割賦販売取引の売上高及び売上原価の計上基準については、従来より、「リース業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(業種別監査委員会報告第19号 2000年11月14日)に基づき、割賦債権と繰延割賦未実現利益を両建計上し、割賦売上高と割賦売上原価を両建計上する処理を行ってまいりましたが、当第3四半期連結累計期間にリースシステムを変更したことに伴い、経済実態をより適切に財務諸表に反映させることが可能となったことから、当第3四半期連結累計期間より、元本相当額を割賦債権に、利息相当額を売上高に計上する方法に変更しており、当該変更は遡及適用しております。この結果、遡及適用前と比較して、前第3四半期連結累計期間の経常収益、その他業務収益、経常費用及びその他業務費用がそれぞれ1,335百万円減少しておりますが、経常利益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益に与える影響はありません。また、前連結会計年度のその他資産及びその他負債がそれぞれ276百万円減少しております。なお、前連結会計年度の期首の利益剰余金に対する影響はありません。

加えて、割賦販売取引に含まれる利息相当額の計上方法については、従来、定額法を採用しておりましたが、当第3四半期連結累計期間より、原則的な方法である利息法に変更しております。当該変更が過去に与える影響は軽微であるため遡及適用せず、累積的影響額は当期の損益で処理しております。これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

子会社株式(愛銀リース株式会社及び株式会社愛銀ディーシーカード)の追加取得

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称	事業の内容
愛銀リース株式会社	リース業務
株式会社愛銀ディーシーカード	その他

(2) 企業結合日

結合当事企業の名称	企業結合日
愛銀リース株式会社	2023年8月1日、10日、14日、21日
株式会社愛銀ディーシーカード	2023年10月23日

(3) 企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

(4) 結合後企業の名称

変更ありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

当社グループ内の持分比率を引き上げるによりグループ経営の強化を図り、これまで以上にグループが一体となった総合金融サービスを提供することを目的として、非支配株主が保有する株式を取得したものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式を追加取得した場合に掲げる事項

被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

① 愛銀リース株式会社

取得の対価	現金預け金	1,672百万円
取得原価		1,672百万円

② 株式会社愛銀ディーシーカード

取得の対価	現金預け金	258百万円
取得原価		258百万円

4. 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

(1) 資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

(2) 非支配株主との取引によって増加した資本剰余金の金額

2,695百万円

3. 2024年3月期第3四半期 決算短信説明資料

(1) 損益の状況

①あいちフィナンシャルグループ連結

資金利益が96億円、役務取引等利益が24億87百万円増加した一方で、営業経費やシステム統合にかかる費用等が増加したことにより、経常利益は前年同期比5億59百万円減益の108億61百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比805億62百万円減益の77億6百万円となりました。これは、前第3四半期連結累計期間において、企業結合による負ののれん発生益804億91百万円を含んでいるためです。

(単位：百万円)

科目		2023年3月期 第3四半期 累計期間	2024年3月期 第3四半期 累計期間	増減
連結粗利益	1	31,539	42,512	10,972
資金利益	2	30,834	40,434	9,600
役務取引等利益	3	6,190	8,678	2,487
その他業務利益	4	△5,485	△6,600	△1,115
営業経費	5	23,781	32,257	8,475
貸倒引当償却費用	6	1,353	2,023	669
一般貸倒引当金繰入額	7	359	212	△146
個別貸倒引当金繰入額	8	807	1,554	746
偶発損失引当金繰入額	9	186	256	70
株式等関係損益	10	5,405	4,432	△972
経常利益	11	11,421	10,861	△559
特別損益	12	80,231	△61	△80,292
うち負ののれん発生益	13	80,491	—	△80,491
税金等調整前四半期純利益	14	91,652	10,800	△80,852
法人税等合計	15	3,293	3,019	△274
四半期純利益	16	88,359	7,781	△80,578
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	91	75	△16
親会社株主に帰属する四半期純利益	18	88,268	7,706	△80,562

(注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

2. 当社設立において、企業結合会計上の取得企業を株式会社愛知銀行としたため、前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)の連結経営成績は、株式会社愛知銀行の前第3四半期連結累計期間の連結経営成績を基礎に、株式会社中京銀行の前第3四半期連結会計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)の連結経営成績を連結したものととなります。

3. 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおり、当第3四半期連結累計期間より、割賦販売取引の売上高及び売上原価の計上基準を変更しており、前第3四半期連結累計期間については当該会計方針を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

② 2行合算

**2行合算の貸出金利息及び有価証券利息配当金、役務取引等収益は着実に伸長。**

資金利益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加により前年同期比3億20百万円増益の394億91百万円、役務取引等利益は前年同期比4億6百万円増益の76億20百万円となりました。

経常利益は、経費やシステム統合にかかる費用等が増加したことにより、前年同期比21億52百万円減益の84億91百万円となり、四半期純利益は、前年同期比16億96百万円減益の61億49百万円となりました。

(単位：百万円)

科目		2023年3月期 第3四半期 累計期間	2024年3月期 第3四半期 累計期間	増減
業務粗利益	1	37,996	39,260	1,264
資金利益	2	39,171	39,491	320
役務取引等利益	3	7,213	7,620	406
その他業務利益	4	△8,388	△7,851	536
経費（除く臨時処理分）	5	30,196	31,311	1,115
人件費	6	15,298	14,873	△425
物件費	7	12,439	13,909	1,470
税金	8	2,458	2,528	69
実質業務純益	9	7,799	7,948	149
コア業務純益	10	15,339	14,871	△467
コア業務純益（除く投資信託解約益）	11	12,766	13,759	992
一般貸倒引当金繰入額 ①	12	374	225	△148
業務純益	13	7,425	7,722	297
うち国債等債券損益（5勘定戻）	14	△7,539	△6,922	616
臨時損益	15	3,218	768	△2,449
うち株式等損益（3勘定戻）	16	5,590	4,236	△1,354
うち不良債権処理額 ②	17	1,578	1,670	91
うち偶発損失引当金戻入益 ③	18	—	1	1
うち償却債権取立益 ④	19	5	9	3
経常利益	20	10,643	8,491	△2,152
特別損益	21	282	△0	△282
うち固定資産処分損益	22	△30	15	46
うち減損損失	23	189	15	△173
税引前四半期純利益	24	10,926	8,491	△2,434
法人税等合計	25	3,080	2,342	△738
四半期純利益	26	7,846	6,149	△1,696
与信関係費用 ①+②-③-④	27	1,947	1,885	△62

③愛知銀行単体

**貸出金利息及び有価証券利息配当金、役務取引等収益はいずれも前年比増加。**

コア業務純益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金、役務取引等収益が増加した一方で、物件費の増加等により、前年同期比3億43百万円減益の106億25百万円となりました。

経常利益は、株式等損益の減少、システム統合にかかる費用等の増加により、前年同期比24億6百万円減益の71億95百万円となり、四半期純利益は前年同期比18億50百万円減益の51億77百万円となりました。

(単位：百万円)

科目		2023年3月期 第3四半期 累計期間	2024年3月期 第3四半期 累計期間	増減
業務粗利益	1	24,410	25,950	1,539
資金利益	2	25,974	26,704	729
役務取引等利益	3	4,574	4,977	403
その他業務利益	4	△6,138	△5,731	406
経費（除く臨時処理分）	5	18,888	20,187	1,299
人件費	6	9,634	9,709	75
物件費	7	7,865	8,934	1,069
税金	8	1,388	1,543	155
実質業務純益	9	5,522	5,762	240
コア業務純益	10	10,968	10,625	△343
コア業務純益（除く投資信託解約益）	11	9,384	10,109	724
一般貸倒引当金繰入額 ①	12	347	414	67
業務純益	13	5,174	5,347	172
うち国債等債券損益（5勘定戻）	14	△5,446	△4,862	583
臨時損益	15	4,426	1,847	△2,578
うち株式等損益（3勘定戻）	16	5,307	3,651	△1,656
うち不良債権処理額 ②	17	805	599	△206
うち偶発損失引当金戻入益 ③	18	—	1	1
うち償却債権取立益 ④	19	4	2	△2
経常利益	20	9,601	7,195	△2,406
特別損益	21	△1	△50	△49
うち固定資産処分損益	22	△73	△43	29
うち減損損失	23	185	6	△178
税引前四半期純利益	24	9,599	7,144	△2,455
法人税等合計	25	2,571	1,966	△605
四半期純利益	26	7,028	5,177	△1,850
与信関係費用 ①+②-③-④	27	1,149	1,010	△138

④中京銀行単体

**有価証券利回り上昇により、有価証券利息配当金が前年比増加。**

コア業務純益は、有価証券利息配当金が増加しましたが、貸出金利息の減少などにより、前年同期比1億24百万円減益の42億46百万円となりました。

経常利益は、上記に加え、株式等売却益の増加等により、前年同期比2億53百万円増益の12億96百万円となり、四半期純利益は前年同期比1億53百万円増益の9億71百万円となりました。

(単位：百万円)

科目		2023年3月期 第3四半期 累計期間	2024年3月期 第3四半期 累計期間	増減
業務粗利益	1	13,585	13,310	△275
資金利益	2	13,196	12,787	△409
役務取引等利益	3	2,639	2,643	3
その他業務利益	4	△2,250	△2,120	130
経費（除く臨時処理分）	5	11,308	11,123	△184
人件費	6	5,664	5,164	△500
物件費	7	4,573	4,975	401
税金	8	1,070	984	△85
実質業務純益	9	2,277	2,186	△91
コア業務純益	10	4,370	4,246	△124
コア業務純益（除く投資信託解約益）	11	3,381	3,649	268
一般貸倒引当金繰入額 ①	12	26	△188	△215
業務純益	13	2,250	2,375	124
うち国債等債券損益（5勘定戻）	14	△2,093	△2,060	33
臨時損益	15	△1,208	△1,078	129
うち株式等損益（3勘定戻）	16	283	585	302
うち不良債権処理額 ②	17	773	1,070	297
うち償却債権取立益 ③	18	1	7	5
経常利益	19	1,042	1,296	253
特別損益	20	284	50	△233
うち固定資産処分損益	21	43	59	16
うち減損損失	22	3	9	5
税引前四半期純利益	23	1,326	1,347	20
法人税等合計	24	508	375	△133
四半期純利益	25	817	971	153
与信関係費用 ①+②-③	26	798	874	76

(2) リスク管理債権の状況

部分直接償却は実施しておりません。

①あいちフィナンシャルグループ連結

(単位：百万円)

(参考)

	2023年3月期	2023年12月期	増 減	2022年12月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	14,654	17,741	3,087	18,080
危険債権額	62,835	61,753	△1,082	62,879
要管理債権額	10,425	9,798	△626	8,206
三月以上延滞債権額	504	158	△346	390
貸出条件緩和債権額	9,920	9,640	△280	7,815
合計 (A)	87,914	89,293	1,378	89,167
正常債権額	4,554,288	4,684,697	130,409	4,528,320
総与信 (B)	4,642,203	4,773,991	131,788	4,617,488

(単位：%)

総与信残高に占める比率 (A) / (B)	1.89	1.87	△0.02	1.93
-----------------------	------	------	-------	------

②2行合算

(単位：百万円)

(参考)

	2023年3月期	2023年12月期	増 減	2022年12月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	14,237	17,206	2,968	17,618
危険債権額	62,656	61,539	△1,116	62,691
要管理債権額	10,344	9,726	△618	8,120
三月以上延滞債権額	504	158	△346	390
貸出条件緩和債権額	9,840	9,568	△271	7,730
合計 (A)	87,238	88,472	1,233	88,431
正常債権額	4,558,873	4,689,853	130,979	4,533,567
総与信 (B)	4,646,112	4,778,325	132,212	4,621,998

(単位：%)

総与信残高に占める比率 (A) / (B)	1.87	1.85	△0.02	1.91
-----------------------	------	------	-------	------

③愛知銀行単体

(単位：百万円)

(参考)

	2023年3月期	2023年12月期	増 減	2022年12月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	7,109	9,352	2,243	10,374
危険債権額	44,285	42,859	△1,425	44,322
要管理債権額	4,872	4,779	△93	4,619
三月以上延滞債権額	473	142	△330	370
貸出条件緩和債権額	4,399	4,637	237	4,248
合計 (A)	56,267	56,991	724	59,316
正常債権額	2,998,615	3,128,528	129,913	2,956,805
総与信 (B)	3,054,882	3,185,520	130,637	3,016,121

(単位：%)

総与信残高に占める比率 (A) / (B)	1.84	1.78	△0.06	1.96
-----------------------	------	------	-------	------

④中京銀行単体

(単位：百万円)

(参考)

	2023年3月期	2023年12月期	増 減	2022年12月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権額	7,128	7,853	725	7,243
危険債権額	18,370	18,679	309	18,369
要管理債権額	5,472	4,947	△524	3,501
三月以上延滞債権額	31	16	△15	19
貸出条件緩和債権額	5,440	4,931	△509	3,482
合計 (A)	30,970	31,480	509	29,115
正常債権額	1,560,258	1,561,324	1,065	1,576,761
総与信 (B)	1,591,229	1,592,804	1,575	1,605,877

(単位：%)

総与信残高に占める比率 (A) / (B)	1.94	1.97	0.03	1.81
-----------------------	------	------	------	------

(3) 自己資本比率 (国内基準)

①あいちフィナンシャルグループ連結

(単位：百万円、%)

	2023年3月期	2023年12月期	増 減
1. 自己資本比率 (2/3)	8.95	8.84	△0.11
2. 自己資本の額	282,583	286,660	4,077
3. リスク・アセットの額	3,154,089	3,239,669	85,580
4. 総所要自己資本額	126,163	129,586	3,423

- (注) 1. 「自己資本比率 (国内基準)」は、「銀行法第52条の25の規定に基づき、銀行持株会社が銀行持株会社及びその子会社の保有する資産等に照らしこれらの自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準 (2006年金融庁告示第20号)」に定められた算式に基づき、連結ベースについて算出しております。
2. 2023年5月15日に公表しました2023年3月期決算短信の2023年3月期計数を訂正しております。なお、詳細は2023年11月13日に公表しました「(訂正) 2023年3月期第3四半期、2023年3月期及び2024年3月期第1四半期における自己資本比率等の一部訂正について」を参照してください。

②愛知銀行単体

(単位：百万円、%)

	2023年3月期	2023年12月期	増 減
1. 自己資本比率 (2/3)	8.82	8.50	△0.32
2. 自己資本の額	175,156	178,156	3,000
3. リスク・アセットの額	1,985,381	2,095,076	109,694
4. 総所要自己資本額	79,415	83,803	4,387

- (注) 「自己資本比率 (国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準 (2006年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

③中京銀行単体

(単位：百万円、%)

	2023年3月期	2023年12月期	増 減
1. 自己資本比率 (2/3)	7.15	7.24	0.09
2. 自己資本の額	79,466	78,994	△472
3. リスク・アセットの額	1,110,424	1,089,886	△20,538
4. 総所要自己資本額	44,416	43,595	△821

- (注) 1. 「自己資本比率 (国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準 (2006年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。
2. 2023年5月15日に公表しました2023年3月期決算短信の2023年3月期計数を訂正しております。なお、詳細は2023年11月13日に公表しました「(訂正) 2023年3月期第3四半期、2023年3月期及び2024年3月期第1四半期における自己資本比率等の一部訂正について」を参照してください。

(4) 有価証券の評価損益

①あいちフィナンシャルグループ連結

(単位：百万円) (参考)

	2023年3月期			2023年12月期				2022年12月期		
	評価損益			評価損益				評価損益		
		うち益	うち損		増減	うち益	うち損		うち益	うち損
満期保有目的	2	2	—	8	6	21	13	—	—	—
債券	2	2	—	8	6	21	13	—	—	—
その他有価証券	40,721	64,836	24,115	73,856	33,135	95,151	21,294	19,706	59,459	39,753
株式	55,725	57,575	1,850	80,390	24,664	81,565	1,175	52,111	54,071	1,960
債券	△9,699	2,032	11,732	△13,970	△4,271	1,241	15,212	△22,253	403	22,657
外国債券	△1,011	454	1,465	△297	713	288	586	△3,566	112	3,679
その他	△4,293	4,774	9,068	7,734	12,028	12,055	4,321	△6,584	4,871	11,456
合 計	40,723	64,838	24,115	73,864	33,141	95,173	21,308	19,706	59,459	39,753

- (注) 1. 「満期保有目的」については、四半期貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。  
 2. 「その他有価証券」については、四半期貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。  
 3. 「その他有価証券」には、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

②2行合算

(単位：百万円) (参考)

	2023年3月期			2023年12月期				2022年12月期		
	評価損益			評価損益				評価損益		
		うち益	うち損		増減	うち益	うち損		うち益	うち損
満期保有目的	2	2	—	8	6	21	13	—	—	—
債券	2	2	—	8	6	21	13	—	—	—
その他有価証券	46,542	73,780	27,238	81,466	34,923	105,006	23,540	25,057	69,679	44,621
株式	66,198	67,389	1,190	90,960	24,762	91,844	883	62,679	64,337	1,658
債券	△10,894	2,202	13,097	△15,054	△4,160	1,303	16,358	△23,801	642	24,443
外国債券	△3,139	32	3,172	△1,170	1,968	150	1,321	△5,846	13	5,859
その他	△5,621	4,155	9,777	6,730	12,352	11,707	4,976	△7,974	4,686	12,660
合 計	46,544	73,782	27,238	81,474	34,930	105,028	23,553	25,057	69,679	44,621

- (注) 1. 「満期保有目的」については、四半期貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。  
 2. 「その他有価証券」については、四半期貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。  
 3. 「その他有価証券」には、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

③愛知銀行単体

(単位：百万円) (参考)

	2023年3月期			2023年12月期				2022年12月期		
	評価損益			評価損益				評価損益		
		うち益	うち損		増減	うち益	うち損		うち益	うち損
満期保有目的	2	2	-	1	△0	14	13	-	-	-
債券	2	2	-	1	△0	14	13	-	-	-
その他有価証券	41,380	61,605	20,224	71,836	30,455	89,876	18,039	22,620	57,548	34,927
株式	55,161	56,206	1,044	76,944	21,782	77,731	786	51,601	52,981	1,379
債券	△9,810	1,564	11,375	△12,914	△3,104	952	13,867	△19,317	401	19,719
外国債券	△1,436	22	1,459	△415	1,021	131	547	△3,591	9	3,601
その他	△2,533	3,811	6,345	8,222	10,756	11,060	2,837	△6,071	4,156	10,227
合 計	41,382	61,607	20,224	71,837	30,455	89,890	18,052	22,620	57,548	34,927

- (注) 1. 「満期保有目的」については、四半期貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。  
 2. 「その他有価証券」については、四半期貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。  
 3. 「その他有価証券」には、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

④中京銀行単体

(単位：百万円) (参考)

	2023年3月期			2023年12月期				2022年12月期		
	評価損益			評価損益				評価損益		
		うち益	うち損		増減	うち益	うち損		うち益	うち損
満期保有目的	-	-	-	7	7	7	-	-	-	-
債券	-	-	-	7	7	7	-	-	-	-
その他有価証券	5,161	12,175	7,013	9,629	4,468	15,130	5,500	2,437	12,130	9,693
株式	11,036	11,182	146	14,016	2,979	14,113	97	11,077	11,356	278
債券	△1,083	637	1,721	△2,139	△1,055	351	2,490	△4,483	240	4,724
外国債券	△1,702	10	1,713	△755	947	18	774	△2,254	4	2,258
その他	△3,087	343	3,431	△1,491	1,596	647	2,138	△1,902	529	2,432
合 計	5,161	12,175	7,013	9,636	4,475	15,137	5,500	2,437	12,130	9,693

- (注) 1. 「満期保有目的」については、四半期貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。  
 2. 「その他有価証券」については、四半期貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。  
 3. 「その他有価証券」には、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

(5) 預金等・貸出金の残高

① 2行合算

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	2022年12月末
預金等（末残）（注）	5,641,329	5,884,828	5,578,578
うち個人預金	3,405,174	3,457,631	3,425,725
貸出金（末残）	4,575,284	4,705,839	4,548,972
うち消費者ローン	1,335,311	1,416,581	1,297,159
うち住宅ローン	1,305,799	1,385,197	1,268,338

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

② 愛知銀行単体

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	2022年12月末
預金等（末残）（注）	3,710,852	3,903,305	3,660,082
うち個人預金	2,246,303	2,298,760	2,256,971
貸出金（末残）	3,006,979	3,136,820	2,967,813
うち消費者ローン	896,006	986,663	859,905
うち住宅ローン	878,185	966,793	842,884

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

③ 中京銀行単体

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	2022年12月末
預金等（末残）（注）	1,930,476	1,981,523	1,918,495
うち個人預金	1,158,870	1,158,871	1,168,753
貸出金（末残）	1,568,304	1,569,018	1,581,158
うち消費者ローン	439,305	429,917	437,253
うち住宅ローン	427,613	418,404	425,454

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

(参考) 預かり資産

① 2行合算

(単位：百万円) (参考)

	2023年3月末	2023年12月末	2022年12月末
投資信託	158,970	167,814	145,183
公共債	5,659	5,605	5,719
保険	486,338	528,938	477,141
外貨預金	21,046	13,474	19,280

② 愛知銀行単体

(単位：百万円) (参考)

	2023年3月末	2023年12月末	2022年12月末
投資信託	98,141	106,650	88,096
公共債	4,317	4,290	4,375
保険	273,551	300,031	268,521
外貨預金	18,203	10,783	16,239

③ 中京銀行単体

(単位：百万円) (参考)

	2023年3月末	2023年12月末	2022年12月末
投資信託	60,829	61,164	57,087
公共債	1,342	1,315	1,344
保険	212,787	228,907	208,620
外貨預金	2,842	2,691	3,041

以上